



株式会社東京機械製作所

証券コード：6335

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
ここに当社第164期中間報告書(2020年4月1日から2020年9月30日まで)
をお届けいたします。

2020年12月

代表取締役社長 木船 正彦



営業の概況

	当第2四半期累計	前年同期比	前第2四半期累計
売上高	4,009百万円	7.0%	3,746百万円
営業利益	△ 560百万円	—	△ 940百万円
経常利益	△ 495百万円	—	△ 930百万円
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 458百万円	—	△ 763百万円

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しさを増しております。企業活動においては政府の緊急事態宣言の全面解除後も平常化には至っておらず、雇用・所得環境への影響も避けられず、先行きはきわめて不透明な状況となっております。

当社グループが主として事業を展開しております新聞業界は、依然として新聞社の設備投資に対する慎重な姿勢が変わらず、当社にとって厳しい状況が続きました。さらに新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、新聞社各社の販売収入、広告収入に落ち込みがみられております。

このような事業環境のもと、当社は、輪転機の売上拡大に向けた積極的な営業活動や受注確保に努めることはもとより、保守サービス事業の強化やマーケット・インの考え方に転換した製品開発やサービスの提供を行ってまいりました。また、新規事業の構築に向けた連

結子会社との連携、AI関連事業の拡大による輪転機ビジネスに係わる新たな事業の創出を図っております。

このような中で、当社は、ランニングコストの大幅な削減を可能とし、かつ環境適合性に優れた「カラートップ・エコワイドII」オフセット輪転機を中日新聞社様に4セット納入いたしました。

また、新潟日報社様より3セット、読売新聞東京本社様より2セット「カラートップ・エコワイドII」オフセット輪転機を新規受注いたしました。

当第2四半期連結累計期間においては、前年同四半期と比べ売上高は増加し、利益面においても改善が見られたものの、営業利益の計上には至らず、依然として厳しい事業環境が続いております。

株主の皆さまには大変申し訳なく存じますが、中間配当につきましては引き続き無配となりますこと、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

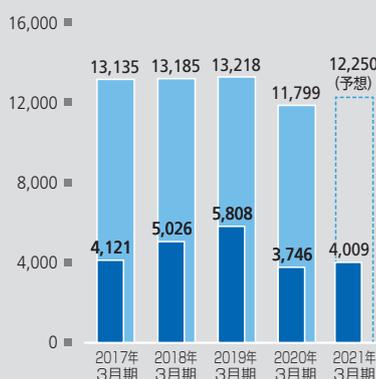
通期の見通し

	当期予想	前期比	前期実績
売上高	12,250百万円	3.8%	11,799百万円
営業利益	470百万円	—	△ 1,163百万円
経常利益	400百万円	—	△ 1,077百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	280百万円	—	△ 998百万円

財務ハイライト

■ 第2四半期 ■ 期末

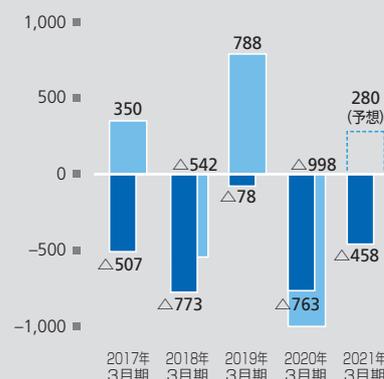
売上高 (単位：百万円)



経常利益 (単位：百万円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (単位：百万円)



TOPICS 1

カラートップ・エコワイドⅡ、中日新聞社様の大府工場で本稼働開始



▲ 中日新聞社大府工場



▲ 完工式



▲ カラートップ・エコワイドⅡ印刷部

中日新聞社様の新たな印刷拠点として建設が進められていました大府工場（愛知県大府市）が完成し、「カラートップ・エコワイドⅡ」オフセット輪転機4セットの本稼働が開始されました。

この大府工場は、既にカラートップ・エコワイドⅡをご導入いただいている浜松都田工場や辻町南工場で培った技術をベースに、効率的な作業動線と空調計画、最新鋭の生産設備を配備した工場で、高速道路や国道へのアクセスの良さを武器に、中日新聞社様の印刷・発行の中核を担う拠点として、愛知県、三重県向け中日新聞本紙のほか、他媒体の受託印刷も行っております。

ご購入いただいたカラートップ・エコワイドⅡは、高紙面品質と作業性を追求し、省資源・省電力を実現した高い環境性能を誇る輪転機です。1時間あたり最大16万部、40ページ（24ページカラー対応）の新聞印刷が可能な機械構成となっています。

2020年4月22日、コロナウイルス感染拡大防止の観点から、出席者は中日新聞関係者様に限定し、人員規模を縮小した形で完工式が執り行われ、大府工場の完成を祝いました。神事後、引き続き行われた始動式では、テープカットに続いて、中日新聞社 代表取締役社長・大島宇一郎様の始動ボタン操作によって輪転機が動き出し、完工特集号の刷り上がりをご覧いただきました。

TOPICS 2

カラートップ・エコワイドⅡ、北國新聞社様の新工場に納入決定



▲ 導入する「カラートップ・エコワイドⅡ」の同型機

2020年3月、北國新聞社様より、「カラートップ・エコワイドⅡ」オフセット輪転機を2セット受注いたしました。

現在、北國新聞社様におかれましては、白山市にある白山制作センターにて当社製輪転機で、北國新聞、富山新聞本紙の印刷とともに、受託印刷も行っております。

機種選定にあたっては、カラートップ・エコワイドⅡの省資源・消費電力の低減を実現した高い環境性能および当社の技術力・アフターサービス力等を評価いただけたことが、当社機採用の要因になったと考えております。

本稼働は2023年8月が予定されております。

TOPICS 3

カラートップ・エコワイドⅡ、新潟日報社様の黒埼本社印刷センターに納入決定



▲ 新潟日報社黒埼本社 ▼ 同印刷センター

2020年4月、新潟日報社様より、黒埼本社印刷センター向け「カラートップ・エコワイドⅡ」オフセット輪転機を3セット受注いたしました。

現在、新潟日報社様は、新潟日報本紙のほか、全国紙6紙の受託印刷も行っております。

媒体の切り替え頻度が非常に高い新潟日報社様におかれましては、輪転機を更新するにあたり、新潟日報社様が求める輪転機の方針に対して、カラートップ・エコワイドⅡは、その基本性能はもとより、作業の効率化、省力化、省コスト化においても高くご評価をいただき、お陰さまをもちまして受注の運びとなりました。

ご購入いただくカラートップ・エコワイドⅡは、高速DIP（デジタルインキポンプ）方式で、1時間あたり最大16万部、40ページ（24ページカラー対応）の新聞印刷が可能な機械構成となっています。

本稼働は2022年11月から2024年1月にわたり、順次開始されます。

TOPICS 4 カラートップ・エコワイドⅡ、読売新聞東京本社様の栃木工場に納入決定



▲ 読売新聞東京本社栃木工場

2020年9月、読売新聞東京本社様より、栃木工場向け「カラートップ・エコワイドⅡ」オフセット輪転機を2セット受注いたしました。

現在、栃木工場では、他社製輪転機2セット体制のもと、栃木県全域に向け、読売新聞や報知新聞などを印刷しています。

ご導入いただくカラートップ・エコワイドⅡは、高速DIP（デジタルインキポンプ）方式で、1時間あたり最大16万部、40ページ（16ページカラー対応）の新聞印刷が可能な機械構成となっています。

今回、読売新聞東京本社様としては、初めて刷版自動着脱装置（T-PLATER）を装備し、また、省力化、スキルレス化を実現するAI機能についても搭載する仕様です。

本稼働は1セット目が2021年12月、2セット目が2022年9月を予定しています。

連結財務諸表（要旨）

連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	期別	当第2四半期末 (2020年9月30日現在)	前期末 (2020年3月31日現在)
資産の部			
流動資産		10,969	12,891
固定資産		3,818	3,894
有形固定資産		3,269	3,335
無形固定資産		18	19
投資その他の資産		531	539
資産合計		14,787	16,785
負債の部			
流動負債		3,146	4,458
固定負債		3,555	3,785
負債合計		6,702	8,244
純資産の部			
株主資本		7,573	8,032
資本金		4,435	4,435
資本剰余金		1,335	1,335
利益剰余金		1,804	2,263
自己株式		△ 1	△ 1
その他の包括利益累計額		△ 396	△ 438
非支配株主持分		907	946
純資産合計		8,085	8,541
負債・純資産合計		14,787	16,785

注：金額は表示単位未満を切り捨てて表示しています。

連結損益計算書

（単位：百万円）

科目	期別	当第2四半期 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	前第2四半期 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)
売上高		4,009	3,746
売上原価		3,809	3,777
売上総利益又は売上総損失(△)		199	△ 30
販売費及び一般管理費		759	910
営業損失(△)		△ 560	△ 940
営業外収益		97	49
営業外費用		32	38
経常損失(△)		△ 495	△ 930
特別利益		14	—
税金等調整前四半期純損失(△)		△ 480	△ 930
法人税、住民税及び事業税		15	36
法人税等調整額		△ 0	△ 197
四半期純損失(△)		△ 495	△ 768
非支配株主に帰属する四半期純損失		△ 36	△ 5
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)		△ 458	△ 763

注：金額は表示単位未満を切り捨てて表示しています。

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科目	期別	当第2四半期 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	前第2四半期 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		△ 534	△ 1,707
投資活動によるキャッシュ・フロー		5	△ 38
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 13	△ 103
現金及び現金同等物に係る換算差額		△ 0	△ 1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△ 543	△ 1,850
現金及び現金同等物期首残高		4,322	4,282
現金及び現金同等物四半期末残高		3,778	2,432

注：金額は表示単位未満を切り捨てて表示しています。

会社概要 (2020年9月30日現在)

商号	株式会社東京機械製作所
創業	1874(明治7)年
設立	1916(大正5)年2月15日
資本金	44億3,500万円
上場証券取引所	東京証券取引所市場第1部
従業員数	250名(連結404名)
本社	〒108-8375 東京都港区三田三丁目11番36号三田日東ダイビル6階 電話：03(3451)8141(代表)
かずさテクノセンター	〒292-0818 千葉県木更津市かずさ鎌足一丁目6番 電話：0438(20)5551(代表)
営業所 サービスセンター	関西、北京代表処(中華人民共和国)、 北海道、東北、中部、西日本

役員 (2020年9月30日現在)

取締役	代表取締役社長	木船	正彦
	取締役	青木	宏始
	取締役	都並	清史
	取締役	原永	幸治
	取締役	安中	正弘
監査役	常勤監査役	佐藤	昌良
	常勤監査役	戸山	幹夫
	監査役	坂本	淳一

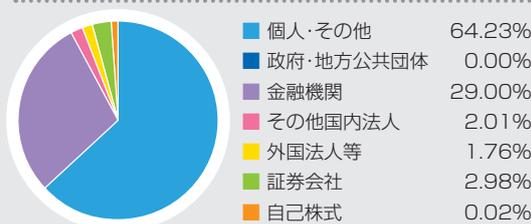
株式の状況 (2020年9月30日現在)

発行可能株式総数	36,000,000株
発行済株式総数	8,728,920株 (自己株式1,754株を含む)
株主数	7,071名(前期末比291名減)
大株主(上位10名)	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
損害保険ジャパン株式会社	500	5.72
株式会社三井住友銀行	423	4.84
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	408	4.68
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	256	2.93
株式会社みずほ銀行	212	2.43
原田 實	199	2.29
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	164	1.88
住友生命保険相互会社	138	1.58
芝 康 平	107	1.22
芝 則 之	101	1.15

(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況



所有株数別分布状況



株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

郵便物送付先・お問い合わせ先

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店	お取引の証券会社になります。	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほ証券株式会社 本店、全国各支店および営業所
ご注意	未払配当金の支払 ^(※) 、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

※未払配当金のみ、みずほ銀行全国本支店でもお取扱いいたします。

単元未満株式(1~99株)の買取・買増請求制度のご案内

当社株式の証券市場での取引は100株単位となっており、単元未満株式を市場で売買することはできません。当社では、「単元未満株式の買取請求制度」および「単元未満株式の買増請求制度」を採用しておりますので、ぜひお手続きくださいますようお願い申し上げます。

なお、決算日・中間決算日、およびそれ以外の株主確定日前の一定期間については、受付停止期間となります。証券会社に口座をお持ちの場合はお取引の証券会社に、特別口座の場合は、上記のみずほ信託銀行株式会社にお問い合わせください。

買取・買増制度の例(170株ご所有の場合)

